

関市立武芸川中学校で防災講座を行いました

令和7年2月18日（火）、最強寒波の影響で雪が散らつく中、関市立武芸川中学校で全校生徒157名に防災講座を行いました。学校の近くには武儀川が流れ、学校の裏は土砂災害警戒区域に指定されています。

講座では、学校付近でも被害があった伊勢湾台風や9.12豪雨災害などの過去の水害や、近年頻発する線状降水帯について学習しました。また、関市に甚大な被害を及ぼした平成30年7月豪雨の被災状況を確認し、中小河川は川幅が狭く急激に水位が上がるので、地域の川の特徴を知っておくことが重要だということを学びました。

伊勢湾台風A | 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「どんな被害が起こりましたか?」「伊勢湾台風が、もし自分の家に来たら家はどうなりますか?」などと湾太郎さんに語りかけ、対話を通して水害への理解を深めていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

